

南畑地区公民館運営審議会会議録

所管課 南畑公民館

会議名	平成29年度 第1回南畑地区公民館運営審議会
開催日時	平成29年7月6日(木) 午後7時30分から 午後9時00分まで
開催場所	南畑公民館 会議室
出席者	審議会委員：中正美氏、吉川英亨氏、高橋康子氏、横谷希己江氏 事務局：山岸館長、木村
傍聴者	0人
会議次第	議題 (1) 平成29年度南畑公民館事業の進捗について (2) 平成29年度教育委員会事務事業外部評価について (3) その他
会議資料	・平成29年度南畑公民館進行管理表(上半期4～9月) (参考) 募集チラシ(ちびっこあおむし・怪皆亭・なんばた学級) 南畑公民館利用者の会 平成29年度定期総会資料 なんばた学級だより 南畑公民館 利用のしおり

開 会 (進行 山岸館長)

1 あいさつ
中委員長
山岸館長

2 議 題 (進行 中委員長)

(1) 平成29年度南畑公民館事業の進捗について

・館長より資料に基づき説明。

[質疑・意見等]

委員：わくわく子ども体験室は、すぐに締切になったとの事だが、広報の方法は。

館長：南畑小学校対象なので、小学校にチラシを配り、小学校事務室に回収箱設置、同時に公民館を申込み場所としたが、1～2日でいっぱいになった。昨年度はうどん作りで包丁を使うため親子参加を募った。親の都合も考えると、親子参加は集まりが悪かった。

委員：子どもは仲の良い友達と、夏休みでもあり参加しやすかったのではないか。

委員：お月見一座の活動でいかだラリー参加とはどういう事か。

館長：お月見一座の活動は2月の公民館での演劇のみならず、5月のつるせ公民館まつりなども出演している。他にも、年間を通じて老人ホームや各種団体からもオファーがあり、敬老会にも寸劇を演じている。また、水谷東公民館のいかだラリーにお月見号を2艇出している。この事業は、柳瀬川に親しみ、参加者の交流と親睦を図るもので、早さを競うのではなくいかだのデコレーションやパフォーマンスを競うもので、お月見号に職員も同乗している。

(2) 平成29年度教育委員会事務事業外部評価について

・館長より説明。(資料は特になく、口頭で説明)

教育委員会の外部評価は第三者(学識経験者)3人が評価。公運審から中議長に評価委員になっていただいた。

公民館については、以下のような報告及び指摘をいただいた。

①家庭教育支援としては、南畑公民館では、ちびっこあおむしに加えデコレーション寿司づくりを行った。公民館事業に参加できない人たちをつなぐサロンは、相談の場であり情報提供の場でもある。若いお母さんは、地域デビューでもあり、児童館等とのつながりや連携も必要。障害などの困難をかかえた人に対しては、民生委員が公民館事業を紹介したり情報を共有してゆくことも必要ではないか。

②地域子ども教室としては、あそび隊や怪皆亭がある。参加した子ども達が成長し、いずれは地域のリーダーとして活躍していくことが望まれる。

③学び合う地域のつながりについて、なんばた学級では学級の活動だけでなく、学校との連携としてわら細工の指導を行った。また、まちづくり協議会に公民館が協力しもちつき大会を行った。意見としては、○高齢者学級について、定員いっぱいにはなっていないか、という質問があり、南畑は定員にはなっていないが、鶴瀬など

は参加が多く、クラブ活動では部屋数も限られていることから制限しているとの事だった。○高齢者学級は60歳以上が対象ということだが、60歳以上といっても多様化してきている。そこで、高齢者学級は身近な学習の場として、市民大学やコミュニティ大学は、より専門的な学習の場としての位置づけになるのではないか。○まちづくり協議会との連携は、良い事だと思う。水谷東地域の例では、防災を通じて地域で支え合い、福祉面においても、実践的活動ができています。

(3) その他

①6月議会の中で、一般質問の公民館関係に関して、1件質問があった。営利目的の民間企業が公民館で活動することはできるか、という質問だった。各公民館の稼働率を算出すると、南畑公民館は最低で、夜間は30%を切る。答弁では、最終的には、支障のない範囲で、提供ができるのかを今後検討していくと回答した。

そもそも公民館は自主的なサークル活動を行うためのものであり、営利目的の企業の使用も認め広げてしまうと、サークル団体が今までのようには使えなくなる。現在は、例えば年1回の発表会など、継続的でなく、一般の社会教育活動に支障がない範囲に限定し、目的外利用の4倍料金で貸している。このような現在の対応については適正であると判断しているが、議会のやりとりを受けて館長間での検討をすすめている。

②教育基本計画の策定にあたり、公運審代表として中議長にお願いする。

③第32回入間地区公民館研究集会在来年2月上旬に開催される。場所については、ふじみ野市の予定。各市の公運審議長と職員が実行委員となるが、今回は2市1町が担当。ふじみ野市が実行委員長、富士見市・三芳町が副実行委員長という割り当てとなっているため、中議長に副実行委員長をお願いする。

④富士見市は東松島市と相互協定を結んでいて、今年も夏祭り応援プロジェクトを行う予定。担当は公民館と交流センターが1年交代となっていて、今年は公民館が中心となり進めている。8月26日の夜中2時に出発し朝現地到着、夏祭りを応援し、その日の夜に富士見市着（夜行日帰り）となるが、ご協力をお願いしたい。

⑤地区内諸団体の総会等の情報交換

次回は10月の予定。

閉 会

